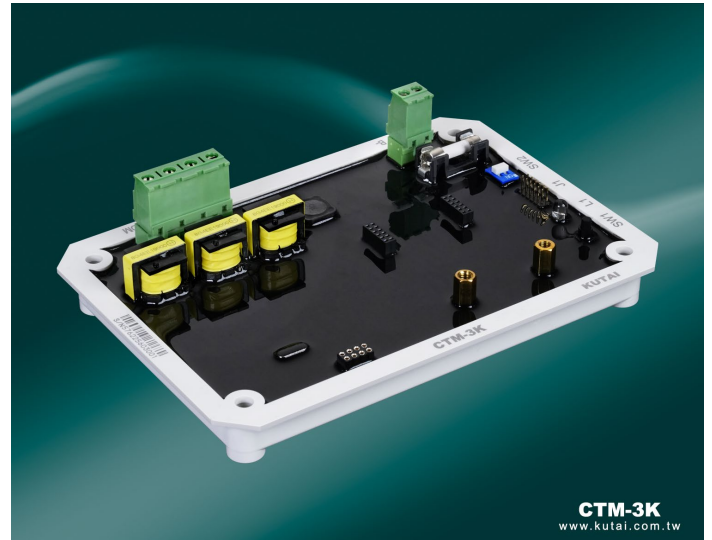


CTM-3K

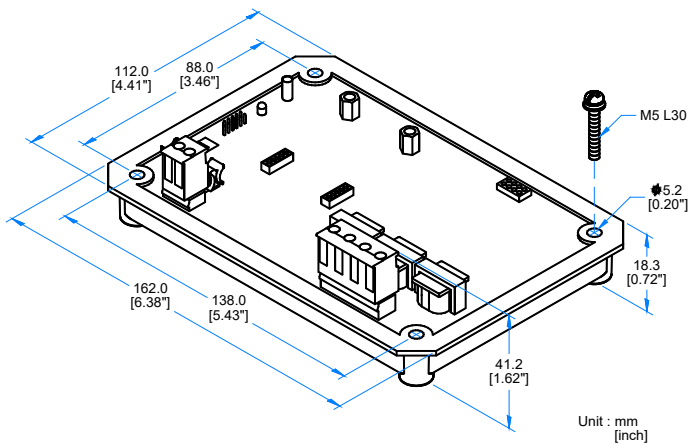
KUTAI 制御ユニット専用電流および KCU 通信モジュールインターフェース

特長

- 電流検出と通信モジュールインターフェースを一体化し、スペースと材料コストを削減
- 単相および三相電源システムに適用し、負荷電流表示を提供
- 変流器一次側電流 50 - 3000A、二次側電流 1A または 5A を選択可能
- 無負荷電流ゼロ校正ボタンを装備
- 取付完了後、自動的に接続検出表示を行い、設定操作不要
- 最大 2 台の **KCU モジュール** を同時に取り付けて遠隔通信可能
- 通信接続ケーブルは誤挿入防止キー形状を採用し、逆挿しを防止
- 電源および接続状態表示灯
 - 緑灯点灯：直流電源供給中
 - 赤灯点灯：コントローラとの接続中断
 - 緑灯点滅：正常動作中 (CT 二次側変比 1A)
 - 赤灯点滅：正常動作中 (CT 二次側変比 5A)



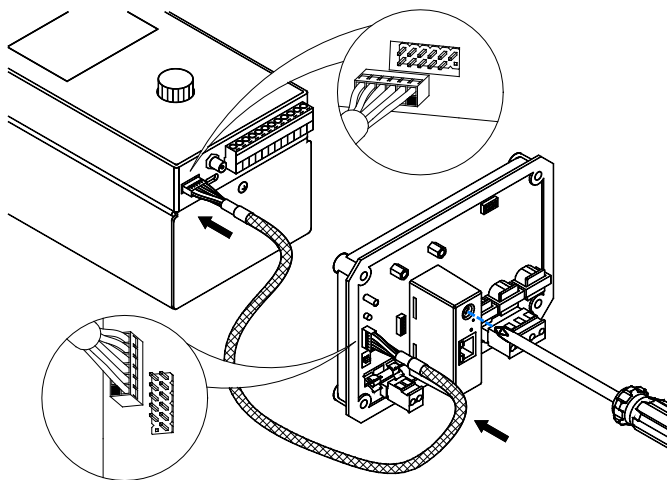
外形寸法図



電気特性

入力電源	9 - 36Vdc
表示電流	50 - 3000A +/-1.5%
静的消費電力	1W 以下 @ 12Vdc
CT 定格負荷	5VA 以上
物理仕様	
寸法	162.0 (L) x 112.0 (W) x 41.2(H) mm 6.38 (L) x 4.41 (W) x 1.62 (H) inch
質量	329 g +/-2% (0.73 lb +/-2%)
使用条件	
操作温度	-20 - +60 °C
保存温度	-30 - +80 °C
相対湿度	95%以下
付属品	
付属品 HU-050-KCU-09	500 mm 接続線 1本
オプション品 HU-100-KCU-09	1000 mm 接続線

結線図



CTM-3K 取付ステップ

1. CTM-3K を電気筐体内の適切な位置に固定して取り付けます
2. 負荷変流器は三相四線式 CT 結線方式を採用し、CTM-3K の米国規格入力端子に接続します
3. CT 二次側変比を 1A 又は 5A に正しく設定します
4. KCU-XX モジュールを通信スロットに固定して接続します。2 組のスロットに順序の区別はなく、自由に使用できます (KCU モジュールが不要な場合は省略可)
5. 通信接続ケーブルを接続して制御ユニットと連結します。通信ケーブルのコネクタは誤挿入防止設計です
6. 直流電源 (9 - 36 Vdc) を接続して CTM-3K の動作電源を供給します。正負極性を逆接続しないでください
7. 制御ユニットで CT 電流変比を設定します